

保育過程

保育の理念		共に生き共に育つ保育の実践			保育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・丈夫で体力のある子ども ・元氣よく友だちと遊ぶ子ども ・自分のことは自分でする子ども 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間の中で自分の主張を言い、友だちと協力できる子ども ・自然に目を向けたり、思いやりの心を持った子ども ・感動し驚き疑問を持ち、考え表現できる子ども 	
保育の方針		児童福祉に基づき子どもにとって最もふさわしい生活の場を保障し、子どもにとって最善の利益を守り保護者と共にその福祉を積極的に増進する						
発達過程		0歳～	1歳～	2歳～	3歳～	4歳～	5歳～6歳	
		<ul style="list-style-type: none"> ・心身の未熟性 ・著しい身体的成長と感覚の発達 ・首が座る、寝返り、腹ばい ・表情、体の動き、喃語などで表現 	<ul style="list-style-type: none"> ・座る、はう、立つや手を使うなど運動機能発達により探索活動が活発になる ・大人との関わりが深まる ・愛着と人見知り ・歩行や言葉の開始 ・様々な運動機能の発達による行動範囲の拡大 ・周囲への関心や大人との関わりへの意欲 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な運動機能の伸び ・指先の機能の発達 ・話言葉の基礎の形成、知的興味、関心の高まり ・食事や衣類の着脱、排泄など、自分でしようとする ・言葉の増加、自己主張の高まり、自我の育ち ・模倣やごっこ遊びの始まり 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣の形成 ・話言葉の基礎の形成、知的興味、関心の高まり ・予想や意図、期待をもった行動 	<ul style="list-style-type: none"> ・全身のバランス力や体の動きが巧みになる ・運動遊びをしたり、全身を動かしたりして活発に遊ぶ ・自然など身近な環境への関わり方や遊び方を体得 ・自意識の高まりと葛藤の経験、けんかが増える 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣の確立 ・運動遊びをしたり、全身を動かしたりして活発に遊ぶ ・仲間と共に遊ぶ中で、規範意識や社会性を体得 ・判断力、認識力の高まりと自立性の形成 	
ねらい	養護	生命の保持	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
		情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの子どもの要求(気持ち)に丁寧な応答をして、スキンシップを十分に取ながら、心身ともに快適な状態を作り、情緒の安定を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの子どもの欲求を受け止め、スキンシップを取り、安心してすごせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの気持ちを理解し、信頼関係を深め自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・探索意欲が高められるように子どもが主体的な活動を促す環境を作りて見守る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの子どもの気持ちを受容し、共感しながら子どもとの信頼関係を深めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長を認め、一緒に喜び、心の安定を得られるようにする。
	教育	健康	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの生活リズムを大切にしながら、生理的欲求を満たし、快適にすごせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者に手伝ってもらいながら、簡単な身のまわりのことを自分でしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者に手伝って貰いながら、身のまわりのことを自分でしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりを清潔にし、衣類の着脱、食事、排泄など生活に必要なことを自分でしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康への関心を深め、進んで体を動かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で危険を招く事態が分かり、見通しをもって行動・活動する。
		人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる保育士との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感の育ちを助け、安定した人間関係の基礎を培う 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる保育士との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感の育ちを助け、安定した人間関係の基礎を培う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の仲立ちによって共同の遊具で遊べるようになる。(ルールを知る) 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちや保育者と簡単なルールのある遊びをする中で決まり・約束を守る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと関わる中で、自己主張をしたり、相手の意見を受け入れたりする。また、ルールをまもろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びや行動を通して、友だちを応援したり、力を合わせたりすることの大切さを知る。
		環境	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な環境の下で、聞く見る触れる等の経験を通して、身のまわりに対する興味や好奇心の芽生えを育む 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な動植物を見たり触れたりして、興味関心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で活動しやすい環境の中で、小動物や植物に触れ、探索・模倣し興味関心を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で、様々な事象に興味や関心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な事象事物に関心をもち、それを遊びに取り入れ、作ったり工夫したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や遊びの中で、簡単な標識や文字記号や時間などに関心をもち。
		言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの表情や喃語に適切に応えたり語りかけたりすることで、発語の意欲を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者などの応答的な話しかけにより自ら言葉を使おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者のごっこ遊びをする中で言葉のやりとりを楽しんだり、絵本の言葉を繰り返したりして楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちの話を聞いたり保育者に質問したり興味・関心をもった言葉によるイメージを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で考えたこと、経験したことを話し、言葉で表現する楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちを言葉で表現することを楽しみ、文字に触れることで言葉への感覚を豊かにし、興味を広げる。
表現	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる人的物的環境の中で、聞く見る触れる等の感覚の動きが豊かになるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本を見たり、保育者の話を聞いたりして感じたことを言葉や動作で自分なりに表現しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな歌に合わせて歌ったり、体を動かしたりして表現することを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな素材や用具に親しみ、友だちと工夫して作ったり、遊んだりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごっこ遊びや表現遊びイメージを共有したり、感じたこと考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感じたこと想像したことを言葉や体、音楽造形などの自由な方法で自分なりの表現をする楽しさを味わう。 		
食育	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる静かな環境でゆったりと授乳や食事ができるようにし、離乳食の完了を目指し、色々な食品が食べられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭的なゆったりとした雰囲気の中で、いろいろな味や食材に慣れ、食べる楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友だちと一緒に楽しく食事をし、いろいろな食材を見たり触れたりする中で、季節を感じたり食への関心や興味を育てていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な食べ物に興味関心をもち、保育者や友だちと一緒に楽しく食事をする。 ・少しずつマナーを身につけていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事のマナーを身につけ、友だちや保育者と食事をすることを楽しむ。 ・体と食物の関係に興味をもち、好き嫌いをなく何でも食べられるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康と食物の栄養に気づき食生活の基本的な習慣や態度を身につける。 ・野菜栽培をし、生長に興味関心をもち、収穫する喜びを味わい、感謝して食べる心を養う。 		
保護者への支援		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の思いをしっかりと受け止め、子どもの様子を伝え合い、信頼・協力関係を築いていく。 ・保育所における子どもの生活や健康状態、事故の発生など家庭と密な連携体制を整える。 ・地域の医療保険関係機関や福祉関係機関などと連携を取る。また、保護者に対して子どもを対象とした地域の保健活動に積極的に参加することを指導する。 ・保護者に保育参加して貰い、子どもの思いに気づいたり保育士の援助の仕方を知ったり子どもと関わる経験をしてもらう。 			安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月避難訓練(火災・消火・地震・不審者)を実施。 ・交通安全教室 ・毎週安全点検(遊具・保育室・園庭など) ・年2回消防点検 		
		衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内外の設備、用具等の清掃消毒 ・園児と職員の手洗い ・年6回外部業者による点検消毒 ・寝具の洗濯、消毒 ・水質検査 ・職員の検便 					
健康支援		<ul style="list-style-type: none"> ・健康状態、発育発達状態の定期的継続的な把握と異常が認められたときの適切な対応 ・入園児の内科検診 ・年2回の内科検診、歯科検診、ぎょう虫検査、検尿検査 			小学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・園時と小学生との交流(1年生と交流会、2年生おもちゃランド参加、運動会参加、体験入学など) ・保育所児童保育要録を小学校へ送付 ・職員間交流(保幼小連絡会議、授業参観保育参観後協議会、保育園行事等への案内) 		
		研修計画	<ul style="list-style-type: none"> ・新保育所保育指針に対応した園内園外研修 ・研修報告 ・ケース会議 					